

---

# ONE PIECE 黒髪少女の海賊女王物語

多摩

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ONE PIECE 黒髪少女の海賊女王物語

### 【著者名】

多摩

### 【あらすじ】

はあ、不幸だ

何で、僕だけこんな目に遭わなきゃならないだ――

えつ、僕死んだの？

マジで、不幸だ――！！

何、転生させてあげる？

なら、ONE PIECEの世界に転生をしてくれーー！

そして、転生してみたら僕はモンキー・D・ルフィに成り代わりしかも女の子でマジで何な�新手の詐欺かよー！？

マジで、本当に不幸だー！？

ONE PIECE小説第一段です。

この小説は、不定期更新です！！

## 第一章…おやかの誕生……（前書き）

これから、頑張って行きます。

## 第一章…まさかの転生……

はあ、不幸だ～！！

こんばんは、中宮椿です。

えつ、女の子みたいな名前？

うう、気にしている事だから言わないでトキ。

はあ、そのお陰様で虚められています。

この、不幸はどれもこれもお父さんのせいなんです。

何か、僕が産まれた日に病院に向かって居る時に椿の花が咲いていてそれで僕の名前は椿と言づ名前になったのです。

まあ、親が付けた名前だからしょうがないだけね～

まあ、とにかく今僕は学校が終わり本屋に向かって居る…。

えつ、何で本屋に向かって居るかてそれは僕が大好きな漫画ONE PIECEの最新単行本を買う為だよ。

「あつがとうござりますーー！」

やつと、ONE PIECEの最新単行本買いました。

『うー、何でエースも白鬚も死ぬんですか！－！』

僕は、近くの公園で本屋で買った単行本を読んで泣いて居た。

それはそうだ、だつて頂上決戦でまさかエースと白鬚が死ぬ何て思  
いもしなかつたんだから。

あの、糞赤犬がエースや白鬚の代わりにマジでお前死ねよー！？

何で、思つて居た。

単行本を読み終わり公園から出て家に向かおつとした時男の子がサ  
ッカーボールを蹴り過ぎて歩道の方まで行き男の子はそれを追い掛  
けたーー！

僕は、ヤバいと思い持っていた鞄を放り投げ男の方に走つて向かい男の子が歩道に入りそうになり男の子を突き飛ばして僕は歩道に入つてしまい何とか起き上がりつて向こう側に戻ろうとしたが……

車が、僕に気付かず僕は引かれた！！

マジで、不幸だよ～！！

『「う、あれ此処は何処だ?』

僕は、辺りを見渡して居ると、

「あら、起きたかしら?」

僕は、声が聞こえて後ろを振り向くとそこには女人が居た。

『あの、あなたは誰ですか?』

「私は、女神のアテネと申します!..!..

『へつ?女神のアテネ?もしかして、僕は死んだのですか?』

「はい、あなたはあの子供を庇つて車に引かれて死にました。」

『マジかよ、。』

僕が、死んだ事で凶んで居る……

「あの、転生をして見ませんか?」

女神のアテネが、僕にそつ言つて來た。

『転生で、あのチートな能力を貰つて平行世界に転生するあの転生ですか?』

「はい、その転生です。」

それを、聞いた僕は……

『僕、転生します！』

「そうですか、ならチート能力を言って下さい。」

アテネが、僕にそう言うと僕はチート能力をアテネに言った。

『まず、一つ目はナルトの忍術・体術・幻術・医療忍術が使える用にする。二つ目はチャクラをナルトの約30倍でネギまの魔力と気をナギとラカンの約20倍にする。三つ目は全性質変化が使える。四つ目九尾の狐（優しい狐）をナルトと同じく体内に居る設定でお願いします。五つ目王の財宝を四代目火影が使って居た三つ叉クナイ（時空間忍術の術式が彫り込まれて居る）を王の財宝に入つて居る元々の財宝の代わりに三つ叉クナイを無限に入れて下さい。』

「チート能力は、これで以上ですか？」

『はい！』

「え？ と、ネギまの魔力と気は使えますが魔法は使えませんが良いですか？」

『はい、大丈夫です。』

『なら、転生させますね～』

僕は、アテネによつて白い光に包まれて消えた。

僕はまさか、転生先がモンキー・D・ルフィでしかも女の子になるとは思いもしなかった！！

次回に続く！！

## 第一章・まさかの転生.....（後書き）

次は、主人公紹介です。

## 主人公紹介改（前書き）

すいません、また少し修正しました。

## 主人公紹介改

名前	モンキー・D・ツバキ
身長	172センチ
体重	4ゲフツ!!
容姿	黒髪長髪のポニーtailで瞳の色は黒色で顔立ちは原作ルフィの顔を超女顔にした感じの美少女です。
性格	とにかく、頑固・優しい・仲間想い・冷静沈着・時々天然
チート能力	一つ目：NARUTOの忍術・体術・幻術・医療忍術・仙術・ネギまの神鳴流剣術が使える。
二つ目：チャクラをナルトの約30倍でネギまの魔力と気をナギとラカンの約20倍にする。	
三つ目：全性質変化が使える用する。	
四つ目：九尾の狐をナルトみたいに体内に入れる。（優しい狐です、ツバキの事を本当の娘みたいに熟愛して居る！－）	

五つ目・王の財宝に元々入つて居る物の代わりに三つ叉クナイ（四代目火影が使って居た時空間忍術が刻まれている）を無限に入れる。後、九尾特製刀（狐白）と籠手（黒龍）も普段は三つ叉クナイと同じく王の財宝に入れている。

#### 武器

九尾特製の刀（狐白）と籠手（黒龍）と三つ叉クナイ（時空間忍術が刻まれている物）

#### 設定

子供を、庇つて死に女神のアテネからチート能力を貰いONE PIECEの世界に転生してみると主人公モンキー・D・ルフィに成り代わりしかも女の子になつて居た。

#### 二つ名

麦わらのツバキ・幻狐のツバキ・幻剣のツバキ

#### 理由

麦わらのは原作と同じだが幻狐は、幻術と九尾の狐を使う為そういう名付けられて幻剣は幻術と神鳴流剣術を使うから。

## 主人公紹介改（後書き）

次からは、本編が始まります！！

## 第一章・修業と九尾との会合ーー（前書き）

タイトル通り修業と九尾との会話話ですーー！

## 第一章・修業と九尾との会合---

やあ、女神アテネからチート能力を貰つて転生した元中宮椿ですーー

えつ、何故元名前が中宮椿のかつて？

何と転生先が、ONE PIECEの主人公モンキー・D・ルフィに成り代わりしたからですよーー

なので、ただいまの僕嫌私の今の名前はモンキー・D・ツバキです。

えつ、前世と同じ名前じやないかて？

まあ、そこは気にしたら負けですから気にしないで下さいね？

とにかく、ルフィに成り代わりして産まれてから最初に見たのは爺さんだつた！！

爺さんが、誰かて？ガープ以外に誰が居るんですか。

とにかく、私が産まれてからガープの顔はデレデレな孫に甘い爺さんだつたのは記憶に新しいですーー

まあ、私が産まれて3年ぐらいには多重影分身を出せるよつになつた。それからは色々と忍術・体術・幻術・医療忍術・仙術・神鳴流剣術が使えるように森に影分身達を隠して私は深層心理の中に居る九尾の狐に会う為に眠つた。

原作みたいに、地下下水道みたいな入り組んだ道を歩き私はやつと九尾の狐に会つた！！

『あなたが、九尾の狐ですか？』

「やつと来た、妾はそなたを待つて居た。」

何か、フレンドリーな狐だな……

と、私は思った。

「そう言えば、そなたからチャクラ以外の物が感じるがそれは何だ？」

まさか、魔力と氣を感じる何て流石九尾の狐だね！！

『それは、魔力と氣だよ。』

「魔力と氣？チャクラとはどう違うのじや。」

『あんまり大差ないと思いますがチャクラで忍術などを使うのと同じで魔力は魔法と言う物を使う為に必要で気は身体能力を上げる事が出来るのであんまり魔力・チャクラと変わらないですよ。』

「そりゃ……」

『後、お願ひが有るのですがあなたの九尾のチャクラを使える用にして貰えないのでしょうか？』

「何故じゃ、そなたにはチャクラや魔力や気などがあるのだから妾のチャクラを使わないでも大丈夫だと思うが……」

『実は、カン卦法と言つ究極技法をあなたのチャクラと自分のチャクラと魔力と氣などでカン卦法を使える用になりたいからです。』

ツバキは、そう言った!!

「分かつた、そなたに力を貸そその代わりに妾に名前を付けてくれないかの？」

『そんな事で、良いのならあなたの名前はカスミは如何でしょうか』

……』

「それで、良い妾の名前はこれからはカスミじや。』

九尾改めカスミの力を借りれる事が出来修業にカン卦法が追加された。

それから、4年が経ちツバキは全性質変化の忍術・体術・幻術・医療忍術・仙術・神鳴流剣術が全部使えるようになつたがカン卦法は意外に難しく今のところ最低1時間が限界であるがカン卦法練習すた時よりは持続時間は増えた。

ツバキは、何時ものように森の奥にある湖で水面歩行をしながら力ン卦法の持続時間を伸ばす修業を終えて村に帰る時に海の向こう側からある船が此方に向かつて来るのを見た。

『やつと、シャンクスが来るか。』

ツバキは、そう呟いて村に帰つて居た。

次回に続く！！

## 第一章・修業と九尾との会合ーー（後書き）

次回は、シャンクス達と会話とモブキャラ退治ですーー！

## 第三章・赤髪のシャンクスとの出会いとモハキャラ退治と別れーー（前書き）

更新です。

後、後書きにアンケート書きました。

## 第三章・赤髪のシャンクスとの出会いとモアキャラ退治と別れ---

「やあ、こんにちはモンキー・D・ツバキです。」

私は今マキノさんのお店で、匂い飯を食べて居る。

マキノさんのお店で、匂い飯を食べて居ると修業をしていた時に見た船に乗つて居るであろう人がマキノさんのお店に入つて來た。

「お邪魔するよ。」

と、そう言つたのは赤い髪で麦わら帽子を被つた男の人だった。

「いらっしゃい、何にします。」

マキノさんが、男の人にそう言つと男の人は……

「あ、じゃあ肉とスペゲティと酒で後からまた一杯来るけど大丈夫かい。」

男の人が、そう言つとマキノさんは

「はい、大丈夫ですよ……」

と、男の人にそう言つた。

マキノは、そう言って注文した物を準備し始めた。

「ん？」

男は、ツバキに気付いた。

「お前、村の子かあ？」

『そうですけど、赤髪海賊団船長の赤髪のシャンクスさん?』

ツバキが、シャンクスにそう言つと……

「俺を、知つて居るのかあ！？」

シャンクスは、ツバキが自分の事を知つてている事に驚いた。

『ええ、私の祖父が英雄ガープですから。』

ツバキが、シャンクスに自分の祖父が海賊王を捕まえて皆に英雄と言われている英雄ガープの孫であると言つと

「何！？英雄ガープの孫だつて。」

シャンクスは、ツバキのその言葉に物凄く驚いた。それから、シャ

ンクスや後から来たシャンクスの部下の人達とも話をした。

『へえ、シャンクスさん達はそんな航海をなさって居るんですね！』

ツバキが、シャンクス達にそう言つと……

「ああ、海は良いで冒険をしたりお宝を探したりをするからなあ！」

シャンクスは、ツバキに海の素晴らしさや冒険の楽しさを教えた。

その時、ガッターランと扉が開く音が聞こえたと思つたら山賊達が入つて來た。

その中から、リーダーのヒグマがカウンターに近づきマキノに喋り掛けた。

「よつ、ひかえのつか？」

「申し訳ありません、もつお酒無いんですよ……」

マキノが、山賊のリーダーにそつ言つと……

「何だと、ふざけじやねえー。」

山賊のリーダーの、ヒグマはマキノに怒鳴り散らじマキノに近づき胸倉を掴もうとした時……

『五月蠅いですね、その薄汚い手をマキノさんから離せ糞山賊!!』

ツバキは、マキノの胸ぐらを掴んで罵たヒグマに文句を言った。

「おー、小娘今何て言つたあーーーー。」

『糞山賊と言つたんだよ、ついでに表に出な。』

「良い度胸じゃないか小娘、俺の剣の鋒びにしてくれるわーーー。』

ヒグマとツバキは、そつと外に出た。

外

「おー、覚悟べらう出来てんだろうつな小娘ーー。」

』  
.....  
『

ツバキは、無言になり人差し指をひょこひょことヒグマを馬鹿にするように向けるとヒグマは

「 調子に載りやがつて殺してやる…」

ヒグマは、剣を抜きツバキに向かつて剣を振り抜いたが

『遅い、螺旋丸！』

ツバキは、瞬身の術でヒグマの後ろに回り込み螺旋丸を喰らわした  
それを、見て居たヒグマの子分共は……

うわああ、ヒグマのお頭がやられたぞ。

逃げろ…！

と、ヒグマの子分共はやられたヒグマを担いで逃げて行った。

こつして、ツバキはシャンクスの左腕無しフラグを回避した。

「ほつ……ー！俺達に負けない海賊団を作るか……じゃあ…」

『ええ、少し悲しいですがいつかシャンクスあなた達に負けない海賊団を作つて会いに行きます！』

「まあ、意外に楽しめたからな次の拠点に向かわないと行けないからなお別れだな。」

『もう、次の町に行くんですね。』

それから、一週間後

…  
パサ

「この帽子をお前に預ける」

『一』

「俺の大切な帽子だ、いつかきっと返しに来い立派な海賊になつて  
な。」

シャンクスは、そう言いツバキに帽子を預け船を出航させた…

次回に続く…

## 第三章・赤髪のシャンクスとの出会いとモハキャラ退治と別れーー（後書き）

アンケートは、

サボとエースとの出会い話か原作通り旅に出る話です。

サボとエースとの出会い話なりー

原作通り旅に出る話なりーでお願ひします。

アンケートの期限は、4月2日までですーー！

## アンケートについて改（複数モード）

すこません、少し改変しました。

## アンケートについて改

こんにちは、多摩です。

今回は、 ONE PIECE 黒髪少女の海女王物語のアンケート結果発表です。

アンケートの結果は、主人公とエースとサボが出会い話と旅話を書くが2票

原作通りに旅話を書くが同じく2票

なので、もう一度アンケートをします。

主人公とエースとサボと会う話を書くが1

原作通り旅話を書くが2

で、お願いします。

アンケート募集期限は、4月3日の19時までです！

前のアンケートに、答えて貰つた人達には申し訳無いのですがもう一度アンケートに答えて欲しいです。

アンケートに答えて貰っていない人も答えて貰えれば嬉しいですーー！

## アンケート結果

「んにちは、多摩です！！

今回は、ONE PIECE黒髪少女の海女王物語のアンケート結果発表です。

アンケートの結果は、主人公とエースとサボが出会い話と原作通りに旅話を書くが同じく2票

なので、アンケートは原作通り旅話になりました。

アンケートに、「協力してくれた皆さんありがとうございます。」

ツバキ「次回からは、原作通り旅話が始まります。」

多摩「まあ、駄目作者多摩頑張つて書いていくので応援よろしくお願いします。」

ツバキ・多摩「頑張つて行きますので、応援よろしくお願いします。」

## 第四章・旅立ちの日ーー(前書き)

今回は、短いですーー！

## 第四章・旅立の日――

10年後

「ヒヒヒ、行ひこもしたね村長みじへなるわ――」

「村のハジジ、海賊になるつむべや――」

「本氣で、行ひまつとまな――」

こんにちは、  
モンキー・D・ツバキです！！

シャンクスから、麦わら帽子を預かってあれから10年が経ち私はやっと旅に出る事が出来た。

『やー今日は船出日和ですねー』

私が、そんな事を呟いていたら……

グルルル……

『出たわね、近海の主……でも相手が悪かったわねシャンクス達が村から出てからまた10年鍛えた私の技をみろ……!』

近海の主は、ツバキを食べようとしたが

『左腕に「魔力」右腕に「気」合成……!』

ツバキは、発動させた感卦法で近海の主を倒した。

『思い知つたか魚め……んん……まずは仲間集めだ10人は欲しいですね、そして海賊旗……よし行きますか……! 海賊女王に私はなる……!』

まだ見ぬ彼女の仲間達を巻き込まんと小さな船は海をゆくかくして大いなる旅は始まったのだ……!

次回に続く！！

## 第四章・旅立ちの日ーー（後書き）

次回は、「ジニーとの出会い」話です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7159r/>

ONE PIECE 黒髪少女の海賊女王物語

2011年9月16日18時50分発行